

東北大学校友会「宣言」

(2007年10月6日)

東北大学校友会の概要

1 校友会の趣旨・目的

創立100周年を機に高まっていた東北大学全学同窓会の活性化の機運と、「東北大学アクションプラン2007」に盛り込まれた東北大学ネットワークの形成・同窓会の充実を受けて、次の100年の大学づくりの礎として、卒業生に加えて、在校生、現職の教職員、在校生の保護者、大学への協力者を会員とし、会員相互の親睦と交流、発展に資するとともに、大学と会員とのコミュニケーションを密にして「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成・強化などを目指します。

2 事業内容

すでに東北大学全学同窓会として実施済みの事業もありますが、校友会の事業として以下を予定し、詳細を検討の上、可能なものから順次実施いたします。

- (1) 東北大学と会員間及び会員相互間の交流・親睦
 - ①ホームカミングデーの開催
 - ②メールマガジンの配付*
 - ③会報誌・大学広報誌の送付*
 - ④大学施設の優待利用*
 - ⑤教員による保護者懇談会（予定）
 - ⑥会員の就職・再就職支援（予定）
 - ⑦校友会活動への支援（予定）
- (2) 基礎同窓会（部局・地域・職域・海外・年次同窓会等）への支援
 - ①会報誌・メールマガジン等を活用した広報活動支援
 - ②講演会等への講師派遣
 - ③各種資料の提供
 - ④会員データベースによる名簿管理サービス（予定）
 - ⑤郵送ラベルの提供（予定）
- (3) 会員データベースの管理・運用（予定）

会員個人による登録・修正、会員検索（情報開示に同意した者）、部局同窓会との相互利用
- (4) 東北大学への協力支援（予定）
 - ①教育・研究支援
 - ②東北大学基金への支援
 - ③就職支援
 - ④入試広報活動等の支援
 - ⑤大学運営への参画（経営協議会学外委員の推薦）*

*印の事業は、会費納入会員に限定されるもの

3 会員の範囲

- ①東北大学の学部卒業生・研究科修了生等（研究生として在籍した者、論文博士取得者、東北大学

- 前身校・包摂校の卒業生等を含む）
- ②東北大学の在校生（研究生として在籍している者を含む）
- ③東北大学の役員、教職員（非常勤職員、研究員等を含む）
- ④東北大学の役員、教職員（非常勤職員、研究員等を含む）であった者で、本会に入会を希望する者
- ⑤東北大学の在校生の保護者で、本会に入会を希望する者
- ⑥東北大学の諸活動に理解があり、貢献・協力のあった者で、会長が認めた者
- ⑦その他、東北大学に関係のある者で、会長が認めた者

4 会費

会費を納入いただいた会員には会員証及び会員章を進呈するとともに、「2 事業内容」の※印のサービスが受けられます。

- ①年会費 1,000円
- ②終身会費 50,000円



5 基礎同窓会

校友会運営の基礎単位となる下記の同窓会を「基礎同窓会」と呼びます。（平成21年5月1日現在）

- (1) **部局別同窓会**：学部、研究科、附置研究所等の別により組織される同窓会
文学部同窓会、教育学部同窓会、法学部同窓会、経和会（経済学部同窓会）、理学部同窓会、良陵同窓会（医学部同窓会）、歯学部同窓会、薬学同窓会、青葉工業会（工学部同窓会）、農学部同窓会、国際文化研究科同窓会、情報科学研究科同窓会、生命科学研究科同窓会、環境科学研究科同窓会、川内親交会（旧教養部同窓会）、金属材料研究所研友会、加齢医学研究所研究会同窓会、流体科学研究所流友会
- (2) **卒業（修了）年次別同窓会**：卒業（修了）年次別に学部・研究科横断的に組織される同窓会
平成21年度卒業（修了）生から組織化を推進する予定です。
- (3) **登録同窓会**：所定の申込書を校友会に提出し、理事会の承認を得た同窓会。
北海道同窓会連合会、石彭会（石巻）、秋田県同窓会、山形県全学同窓会、福島青葉会、郡山青葉会、校友会関東支部、栃木青葉会、長野県青葉会、静岡県あおば会、全学同窓会関西支部、広島同窓会、北社会（岡山）、徳島青葉会、青黄会（九州）、技術士青葉会、青葉技術会、（以下、海外）中国校友会、全学同窓会韓国支部、台湾同窓会

本日、ここに参集した東北大学の卒業生、教職員、学生、学生の保護者をはじめとする大学の協力者は、東北大学創立100周年を機に、「東北大学全学同窓会」のこれまでの輝かしい成果を基にして、より広い会員で構成され、より進んだ目標の実現を目指す「東北大学校友会」（以下「本会」という）の設立を宣言する。これは、これまで「全学同窓会」の結成と運営のために献身した先達の志を、後進として深い敬意と感謝をもって受け継ぎ、さらに発展させようとするものである。

東北大学の全学的な同窓会組織としては、1987年に、既存の部局別同窓会を中心母体として、「東北大学全学同窓会」が設立された。爾来、同会は、定期的に講演会・懇談会を開催するなど、会員相互の親睦を図ると共に、東北大学の発展に多大の貢献を成してきた。中でも、募金活動をはじめとする創立100周年記念事業の遂行においては、常に先頭に立って、極めて大きな役割を果たしてきた。

本会は、そのような「東北大学全学同窓会」のめざましい成果を基にして、より広い会員を擁する新たな組織への発展を図るものである。すなわち、本会は、東北大学の現職の教職員、在校生、卒業生・修了生、在校生の保護者、東北大学の活動を助成する個人など、「東北大学コミュニティ」を構成する個人の広汎な加入を期すものである。

既に述べたように、本会の大学に対する支援・協力は東北大学の今後の飛躍にとって不可欠なものであるが、その一方において、本会の活動は、本会会員にとっても大きな利益をもたらすことが期待される。すなわち、グローバル化が進行し、社会が高度化・複雑化し、すさまじい勢いで新たな知識・情報が産み出されている今日においては、本会会員が、本会の活動を通じて、世界規模で新たな知識・情報の創造・発信に従事している東北大学の活動に参画することによって、会員たる個人の人間の発展、社会におけるプロモーション、会員が代表する団体の発展に有利な最新の貴重な知識・情報を得ることが見込まれる。又、多岐の専門、業種、年齢、国籍を網羅する本会のネットワークは、会員の生涯の様々な局面で、物的・精神的支えとして大いに役立ち得るものである。

以上に述べたところから、本会は、発足に当たり、次の主要活動目標を掲げるものである。

- I 会員相互の親睦と交流を進め、会員の発展に資する。
- II 「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成・強化を図る。
- III 大学に対する支援、大学の研究・教育・運営への助言・参画を積極的に行い、東北大学の発展に寄与する。
- IV 各部局・地域・職域・海外・年次同窓会組織等と連携・協力し合うことによって、相互の発展を図る。
- V 以上の活動を通じて、人類社会の発展に貢献する。